



2023年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月17日

上場会社名 サイバーステップ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3810 URL <https://corp.cyberstep.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 類
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 緒方 淳一 TEL 0570-032-085
 四半期報告書提出予定日 2022年10月17日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績（2022年6月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	1,132	△51.5	△288	-	△281	-	△308	-
2022年5月期第1四半期	2,334	△29.9	△357	-	△374	-	△387	-

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 △276百万円 (-%) 2022年5月期第1四半期 △374百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	△28.96	-
2022年5月期第1四半期	△49.26	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第1四半期	3,661	2,633	70.9	240.46
2022年5月期	2,831	2,025	70.1	216.66

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 2,597百万円 2022年5月期 1,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年5月期	-	-	-	-	-
2023年5月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 現時点では、2023年5月期の配当予想は未定であります。

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2023年5月期の連結業績予想については、現段階で合理的な業績予想の算定が困難なことから未定といたします。今後、適正かつ合理的な予想が算出可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期1Q	10,803,742株	2022年5月期	9,166,901株
② 期末自己株式数	2023年5月期1Q	219株	2022年5月期	219株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期1Q	10,639,622株	2022年5月期1Q	7,866,682株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6
(重要な後発事象)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの新規感染者数も収まりつつある一方で、ウクライナ情勢の長期化や急速な円安に伴う物価上昇等が続き、企業活動や個人消費の停滞により、景気回復のペースは未だ予断を許さない状況が続いております。

当社グループが属するオンラインゲーム市場においては、スマートフォンやタブレット等、情報端末の普及が減速したことに伴うユーザー数の鈍化に懸念はあるものの、海外向けサービスの堅調な成長が見受けられ、グローバルにユーザーの獲得競争が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループでは引き続き既存サービスの拡大及び収益性の向上に注力すると共に、培ってきた開発技術を応用した新規サービスの開発を進めてまいりました。

現在、主力事業である「オンラインクレーンゲーム・トレバ」（以下、「トレバ」）におきましては、継続率向上を主軸として、国内外向けの定期的なキャンペーンを積極的に実施しつつ、サービスの付加価値を高めて新たな顧客層の開拓を進め、システム面では継続して操作性の向上を目的としたアップデートに努めてまいりました。売上高におきましては、継続的な販促活動は進めていたものの、コスト削減による収益性の回復に注力した結果、販促活動の縮小に伴って売上高は減少いたしました。

コスト面におきましては、「トレバ」及び新規事業における国内外向けプロモーション費用を抑えた形となりました。また、前連結会計年度より固定費の大幅な削減を実施したものの想定より利益の回復に至らなかったことを受け、引き続き継続的な事業構造の見直しによる収益の改善に向けて取り組みを進めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高は1,132百万円となり、前年同期に比べ、51.5%の減収となりました。

利益面につきましては、営業損失288百万円（前年同期は営業損失357百万円）、経常損失281百万円（前年同期は経常損失374百万円）、税金等調整前四半期純損失277百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失384百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失308百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失387百万円）となりました。

当社グループは、オンラインゲーム事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ829百万円増加し、3,661百万円となりました。これは主に、現金及び預金983百万円の増加が生じたことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ221百万円増加し、1,027百万円となりました。これは主に、未払金34百万円の減少があった一方で、長期借入金269百万円の増加が生じたことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ608百万円増加し、2,633百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金308百万円の減少があった一方で、第三者割当による増資や新株予約権の行使による増資によって、資本金444百万円及び資本剰余金444百万円の増加が生じたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想については、現段階で合理的な業績予想の算定が困難なことから引き続き未定といたします。今後、適正かつ合理的な予想が算出可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,674,071	2,657,847
売掛金	324,368	361,095
貯蔵品	373,625	327,015
その他	227,221	107,264
貸倒引当金	△25,812	△25,904
流動資産合計	2,573,473	3,427,319
固定資産		
有形固定資産	0	4,543
無形固定資産	-	889
投資その他の資産		
その他	263,375	238,988
貸倒引当金	△5,000	△10,000
投資その他の資産合計	258,375	228,988
固定資産合計	258,375	234,421
資産合計	2,831,848	3,661,740
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,298	1,232
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	3,020	3,408
未払金	291,080	256,853
未払費用	166,211	160,896
未払法人税等	22,787	10,607
その他	95,406	98,791
流動負債合計	779,803	731,788
固定負債		
長期借入金	26,980	296,128
固定負債合計	26,980	296,128
負債合計	806,783	1,027,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,748,225	3,192,258
資本剰余金	1,813,016	2,257,049
利益剰余金	△2,591,190	△2,899,326
自己株式	△450	△450
株主資本合計	1,969,600	2,549,531
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,489	48,231
その他の包括利益累計額合計	16,489	48,231
新株予約権	38,975	36,061
純資産合計	2,025,065	2,633,823
負債純資産合計	2,831,848	3,661,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上高	2,334,317	1,132,502
売上原価	631,718	367,241
売上総利益	1,702,599	765,261
販売費及び一般管理費	2,059,928	1,053,591
営業損失(△)	△357,329	△288,330
営業外収益		
受取利息	46	38
為替差益	-	26,945
受取賃貸料	10,674	-
その他	1,162	8,428
営業外収益合計	11,883	35,413
営業外費用		
支払利息	-	4,275
株式交付費	-	6,366
外国源泉税	6,198	8,755
為替差損	3,776	-
賃貸費用	13,682	-
その他	5,082	9,111
営業外費用合計	28,739	28,508
経常損失(△)	△374,186	△281,426
特別利益		
固定資産売却益	-	3,225
新株予約権戻入益	973	763
特別利益合計	973	3,988
特別損失		
固定資産除却損	675	-
関係会社株式評価損	10,935	-
特別損失合計	11,610	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△384,823	△277,438
法人税、住民税及び事業税	2,693	30,697
法人税等合計	2,693	30,697
四半期純損失(△)	△387,517	△308,135
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△387,517	△308,135

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
四半期純損失(△)	△387,517	△308,135
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,190	31,742
その他の包括利益合計	13,190	31,742
四半期包括利益	△374,326	△276,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△374,326	△276,392
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期連結累計期間において、第35回新株予約権（行使価額修正条項付）の行使に伴い、資本金が219,033千円、資本剰余金が219,033千円それぞれ増加しております。

また、当社は2022年6月14日付で、ロードランナー株式会社、株式会社Blue Rock及びAsset Management Suite株式会社から第三者割当増資の払込みを受けたことにより、当第1四半期連結累計期間において資本金が224,999千円、資本剰余金が224,999千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,192,258千円、資本剰余金が2,257,049千円となっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の事業に与える影響の仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年6月1日 至 2021年8月31日）

当社グループは、オンラインゲーム事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2022年8月31日）

当社グループは、オンラインゲーム事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続して多額の営業損失を計上し、当第1四半期連結累計期間において営業損失288百万円を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当第1四半期連結会計期間末の現金及び預金残高は2,657百万円あり、当面の運転資金は十分賄える状況のため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

当社グループは、新規タイトルの早期収益化および既存タイトルの収益改善並びに継続したコスト削減に取り組むことにより、当該継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況の早期解消に努めてまいります。